

放射線検査の 説明、質問、同意書の原則

－ 管理者の立場から －

荒井保明
国立がん研究センター中央病院

私の履歴

1979年	東京慈恵会医科大学卒業
1979-1983年	国立東京第二病院（現東京医療センター）
1984-2003年	愛知県がんセンター放射線診断部
2003-	国立がん研究センター中央病院放射線診断科
2010-2012	中央病院副院長（医療安全担当）
2012-2016	中央病院院長
2016,4-	国立がん研究センター理事長特任補佐

普段は患者さん最優先なのですが、
今日は少し、管理者目線でお話させていただきます。

条件を整理する

敢えて順位をつけるなら・・・

診断に必要な、最良の情報を得る

被曝を含め、検査に伴う不利益を最小化する

不安なく、納得して検査を受けられる

条件を整理する

敢えて順位をつけるなら・・・

診断に必要な、最良の情報を得る

診療放射線技師による検査説明の目的は、
顧客満足度の向上ではない。

「最良の画像情報を入手すること」

不安なく、納得して検査を受けられる

患者さんは何がわかれば、
不安なく納得して検査が受けられるのか？

5W1H

5W1H

Why? 何故この検査をするの？

Where? 何処でやるの？

When? 何時やるの？

順位づけいららない？

Who? 誰がやるの？

How? どうやってやるの？

5W1Hを順位づけすると・・・

Why? 何故この検査をするの？

What? 何をするの？

How? どうやってやるの？

When? 何時やるの？
(どのくらいかかるの)

Where? 何処でやるの？

Who? 誰がやるの？

条件を整理する

最良の画像情報を入手するために

Why? 何故この検査をするの？

What? 何をするの？

How? どうやってやるの？

を理解してもらうために説明する。

動くと写真がぶれてしまうから・・・

圧迫しないと、良い写真が撮れないから・・・

一気に飲まないと、全体の姿が分からないから・・・

途中で息を吸うと場所がずれてしまうから・・・

「だから、こうする」の説明がないと納得できない。

理由が判れば、技師と患者が
良い画像を得るためのチームになれる。

技師

「しっかり、息止めて下さったんで、とても良い写真が撮れましたよ！」

「技師と患者がチームになること」
が究極のゴール。（信頼関係の構築）

患者さん

「よーし、やったね！」

と、ここまでは、普通の検査説明の話。

しかし、
実際にはいろいろな患者さんやご家族がいる。

- * 耳の遠い人、目の悪い人
- * 理解力の乏しい人
- * 医療に不信感を募らせている人
- * ヤケになっている人
- * 自分だけは大丈夫と信じている人
- * ともかく誰かに当たりたい人、等々

しかし、
実際にはいろいろな患者さんやご家族がいる。

- * 耳の遠い人、目の悪い人
- * 理解力の乏しい人
- * 医療に不信感を募らせている人
- * ヤケになっている人
- * 自分だけは大丈夫と信じている人

残念だが、「患者さん性善説」では、
病院や職員を守りきれない。

トラブルはいつ起こるのか

説明・質問



同意の取得



検査



結果

患者さん・ご家族が
想定していなかったこと
が生じた時

こんなことになるなんて、

- 聞いてない。
- 知らなかった。
- 説明されていない。
- 聞いてたら、やらなかった。

トラブルはいつ起こるのか

説明・質問



同意の取得



検査

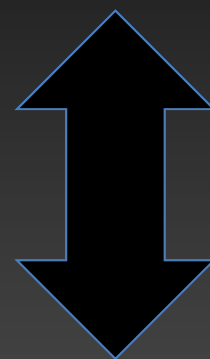


患者さん・ご家族が
想定していなかったこと
が生じた時

こんなことになるなんて、
- 聞いてない。
- 知らなかった。
- 説明されていない

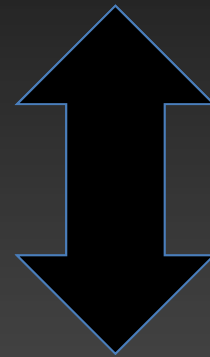
トラブルは、患者さん・ご家族にとって
想定外の事が生じた時に起こる。

トラブルは、患者さん・ご家族にとって
想定外の事が生じた時に起こる。



- * 耳の遠い人、目の悪い人
- * 理解力の乏しい人
- * 医療に不信感を募らせている人
- * ヤケになっている人
- * 自分だけは大丈夫と信じている人
- * とにかく誰かに当たりたい人、等々

トラブルは、患者さん・ご家族にとって
想定外の事が生じた時に起こる。



*
こんなことになるなんて、
- 聞いてない。
- 知らなかった。
- 説明されていない。
- 聞いてたら、やらなかった。
手々

トラブルは、患者さん・ご家族にとって
想定外の事が生じた時に起こる。

病院と職員を守るためには、
あらゆる結果を想定した説明と同意
の記録が必要

*
こんなことになるなんて、
- 聞いてない。
- 知らなかった。
- 説明されていない。
- 聞いてたら、やらなかった。
不
守

医療を取り囲む環境

人生観の変化

価値観の多様性

情動的報道の増加

医療の多様性

社会的背景

権利意識の変化

経済的背景

医療を取り囲む環境

人生観の変化
価値観の多様性
情動的報道の増加
医療の多様性
権利意識の変化
社会的背景

最大多数の国民に許容される
良質の医療を提供することは
極めて難しい課題。

例えば「時間」

「A病院の先生は2時間かけてじっくりと話を聞いてくれた」

「見舞いに行った家族が説明を求めたが、外来終了まで2時間待たされた」

「予約して受診したのに、診察までに1時間待たされた」

「ナースコールを押したが、処置中の患者さんがいるからと15分も待たされた」

例えば「時間」

素晴らしい

「本院の先生は2時間話を聞いてくれた」

素晴らしいですね。
ただ当院は、人員が足りなく
すぐには改善できない状況です。
申し訳ありません。

ひどい

「見舞いに行った家族が説明を求めたが、
外来終了まで2時間待たされた」

ひどい

申し訳ありません。

「予約して受診したのに、診察までに1時間
待たされた」

ひどい

申し訳ありません。

「ナースコールを押したが、処置中の患者
さんがいるからと15分も待たされた」

申し訳ありません。



報道や風評に媚びるのではなく、
われわれ医療者が本当にできる、
そしてすべき対応を
毅然として示す姿勢も必要。

病院と職員を守るためには、
あらゆる結果を想定した説明と同意の記録が必要

ヨード造影剤
「50万人に一人死ぬことがあります」

- * 「起こりうる最悪のこと」を記した説明文書を準備する。
- * 説明したことは必ず記録に残す。

「しっかり横の棒を握っていて下さい」

病院と職員を守るためには、
あらゆる結果を想定した説明と同意の記録が必要

ヨード造影剤
「50万人に一人死ぬことがあります」

* 「起こる最悪のことを記した説明文書を
準備する」
* 「説明したことは必ず記録に残す。」

そんなこと全部
できるか？

「しっかり横の棒を握っていて下さい」

肺気腫を悪化させる危険性を高めます。

濡らして使用すると、感電する危険性があります。

熱いので、やけどをすることがあります。

ペットを乾かささないで下さい。（電子レンジ）

子供の手の届くところに置かないで下さい。

• • • • •

肺気腫を悪化させる危険性を高めます。

濡らして使用すると、感電する危険性があります。

熱いので、やけどをすることがあります。
なにもかも説明・記録する
なんて無理。

へ
クドくて、不愉快なことも。
不安を煽るかも。

子供の手が届くところに置かないで下さい。

.....

それじゃどうする？

本当のところ、正解はないようです。

しかし、

「改善の継続」は可能。

問題点を把握し続け、改善を継続し続ける。

頻度の高いものをつぶしていく。

ベストではなくとも、唯一可能でベターな対策。

それじゃどうする？

本当のところ、正解はないようです。

しかし、

「改善の継続」は可能。

問題点を把握し、継続 改善を継続し、継続

アンケート調査とその結果に基づく改善は、
とても有意義。ただし、継続が必要。

病院と職員を守るためには、
あらゆる結果を想定した説明と同意の記録が必要



- * 「起こりうる最悪のこと」を記した説明文書を準備する。
- * 説明したことは必ず記録に残す。



「改善の継続」で対処

病院と職員を守るためには、
あらゆる結果を想定した説明と同意の記録が必要

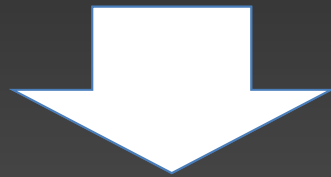


- * 「起こりうる最悪のこと」を記した説明文書を準備する。
- * 説明したことは必ず記録に残す。

そんなんで、
大丈夫？

「改善の継続」で対処

「改善の継続」が職員の意識を、
そして病院全体の姿勢を変える。



患者さんの気持ちを変える。

「患者さん性善説」の復活。

まとめ

残念ながら、「患者さん性善説」では
病院と職員を守れない。

根本的な解決策はなく、
「改善の継続」がキーワード。

「改善の継続」は、
職員の意識と病院全体の姿勢を変え、
ひいては、信頼関係の構築に帰結する。

急がば回れ！

2) 検査説明・予約票・問診同意書について



大分大学医学部附属病院
医療技術部 放射線部門

濱 田 智 広

Disclosure of conflict of interest

We have nothing to declare for this study.

the **72**nd annual scientific congress of the JSRT
Japanese Society of Radiological Technology

Goal

放射線検査において
安全、安心、確実な
医療を提供(実現)する

● 経験するインシデント

- ✎ 食事制限できずに延期、遅らせる
- ✎ 予約時間より早く来られ、トラブルへ
- ✎ 同意書不在で中止、再取得へ
- ✎ 造影後に当日 **eGFR** が変化していた
- ✎ アレルギー歴が未確認で副作用発現
- ✎ 授乳中患者にボースデルを内服
- ✎ 内視鏡下でのクリップ装着が **MR** 禁忌

検査説明

予約票

同意書

確認・問診

添付文書

禁忌事項

●「検査説明・問診同意」の目的

- ①必要な放射線検査を**確実**に遂行する
- ②より高い**安全性**を追求する
- ③リスク情報を医療側と患者側とで**共有**し、見える化する
- ④医療側が**説明責任**を果たす
- ⑤患者側が十分**理解・納得**したうえで承諾する

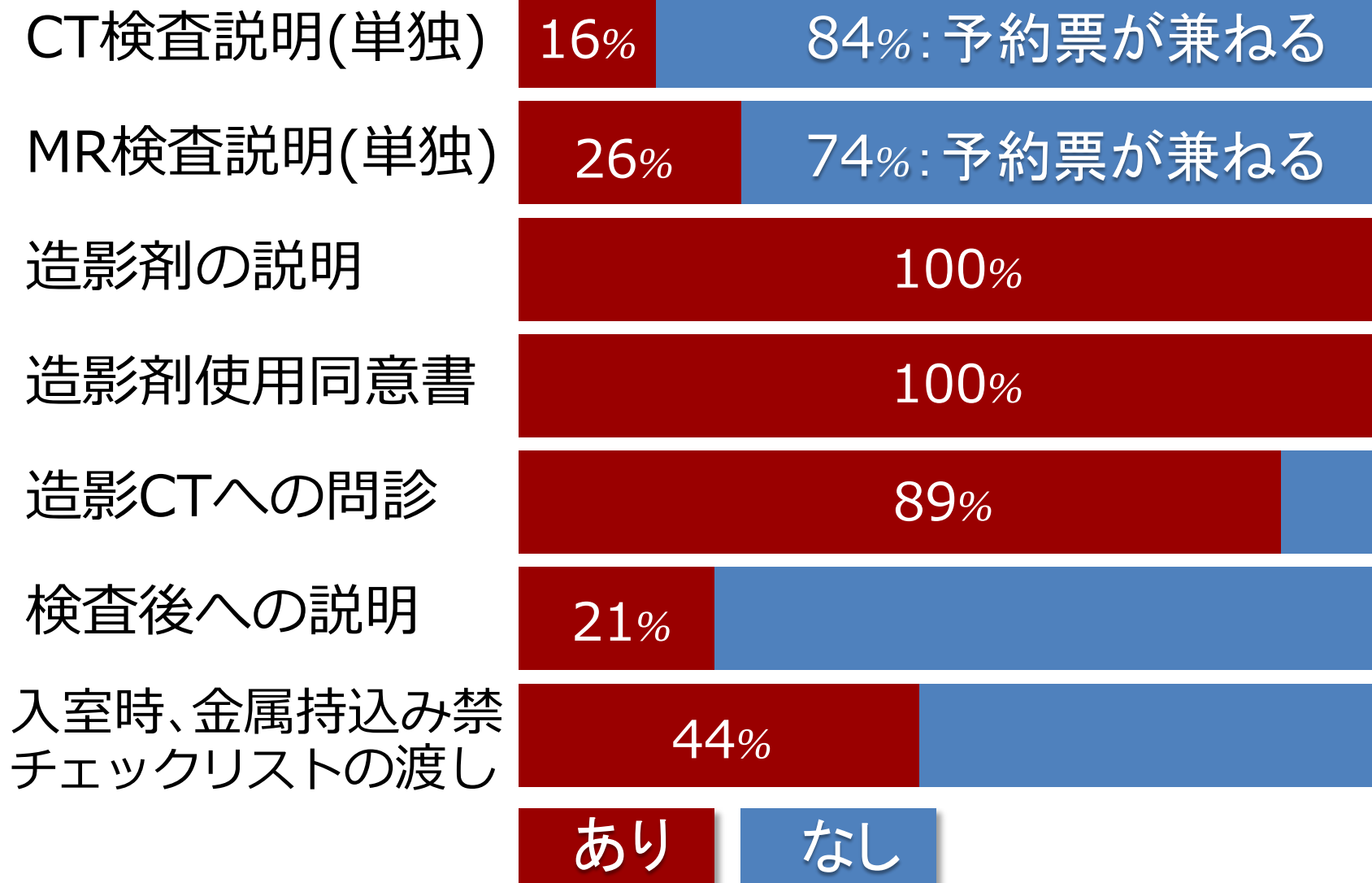
●「検査説明・問診同意」の条件

- 
- ☒ モレがない
 - ☒ 正確である
 - ☒ 明快で十分伝わる
 - ☒ 納得できる内容
 - ☒ 記録に残す

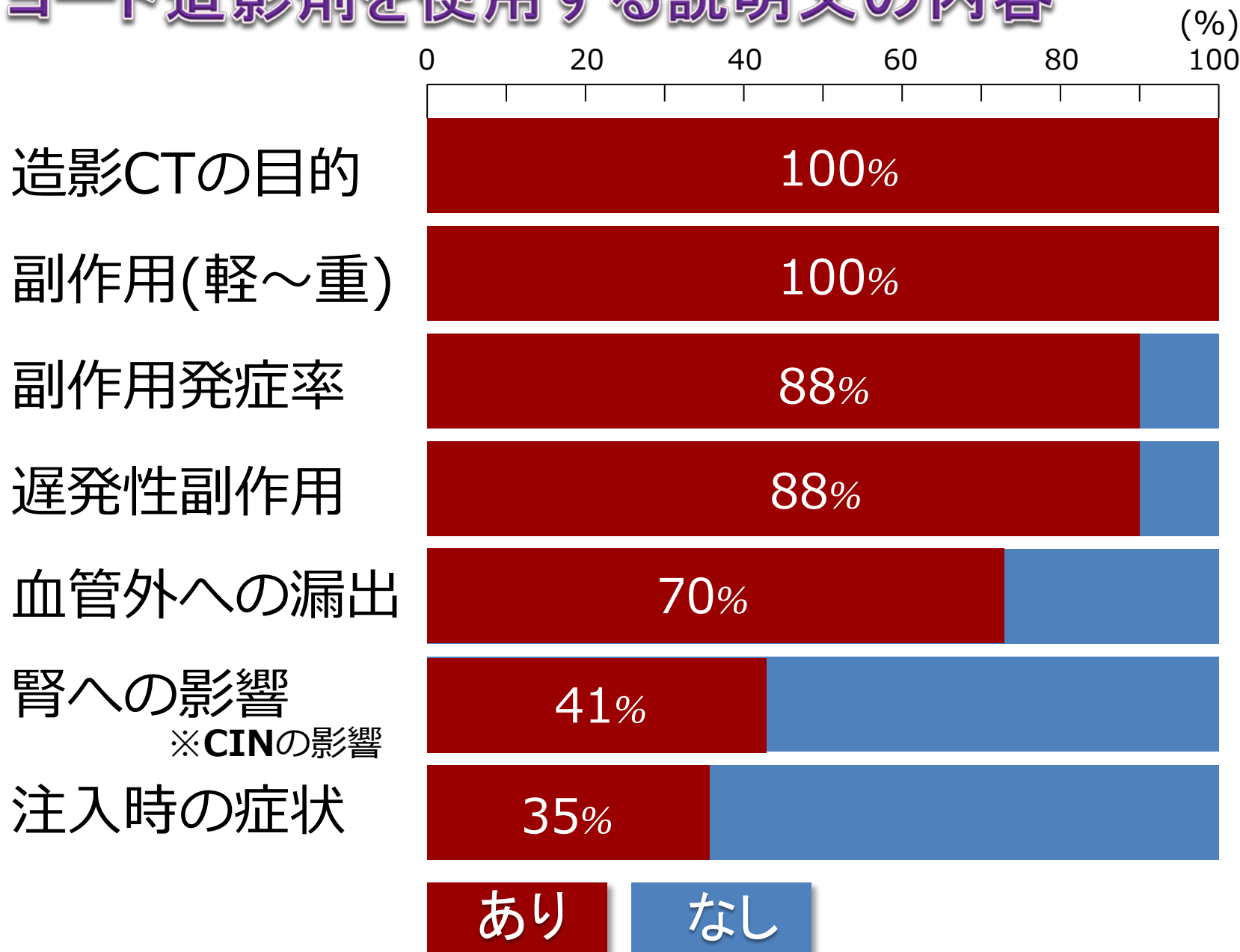
検査説明書の構成

国立大学病院ネットワーク(20施設回答) (%)

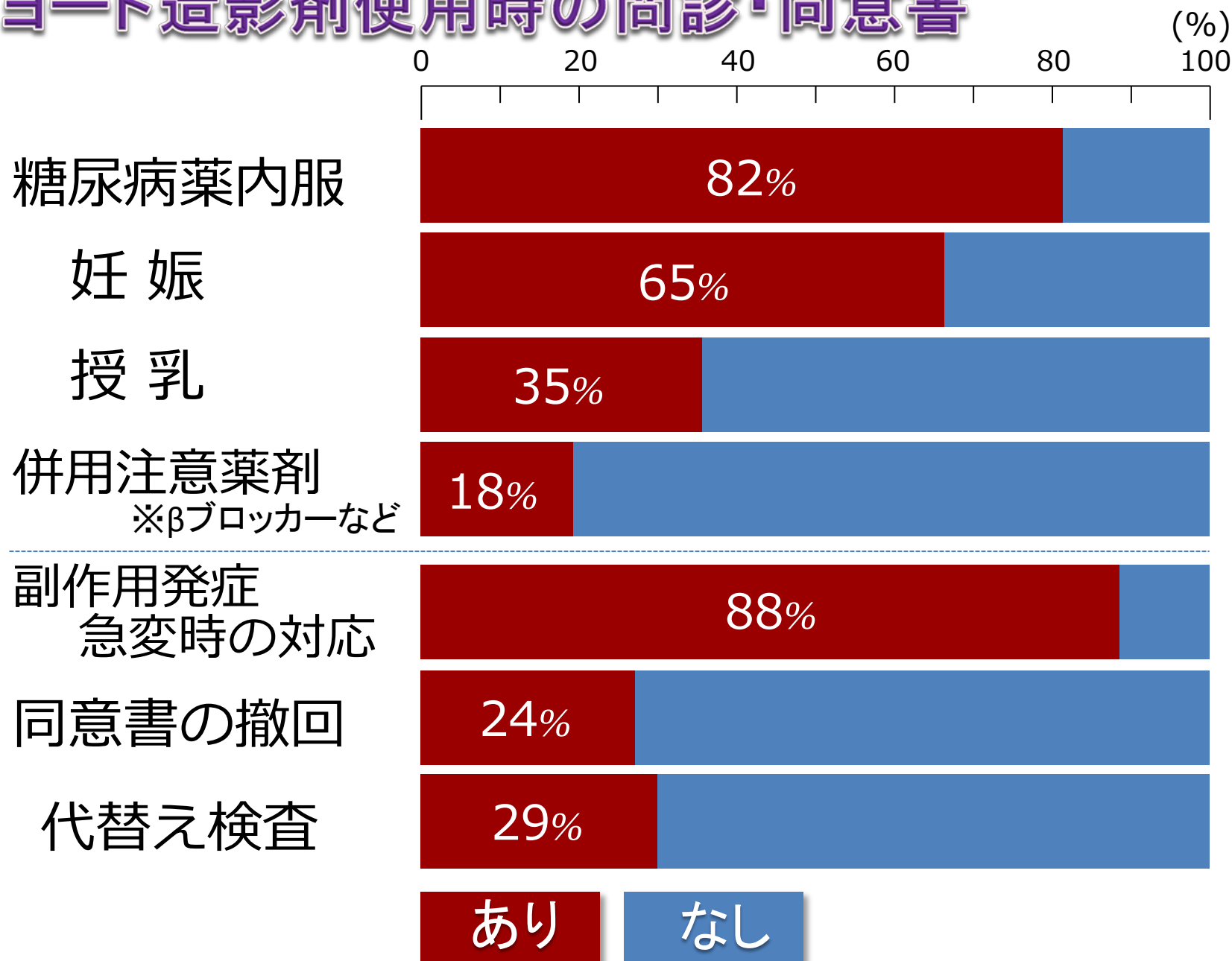
0 20 40 60 80 100



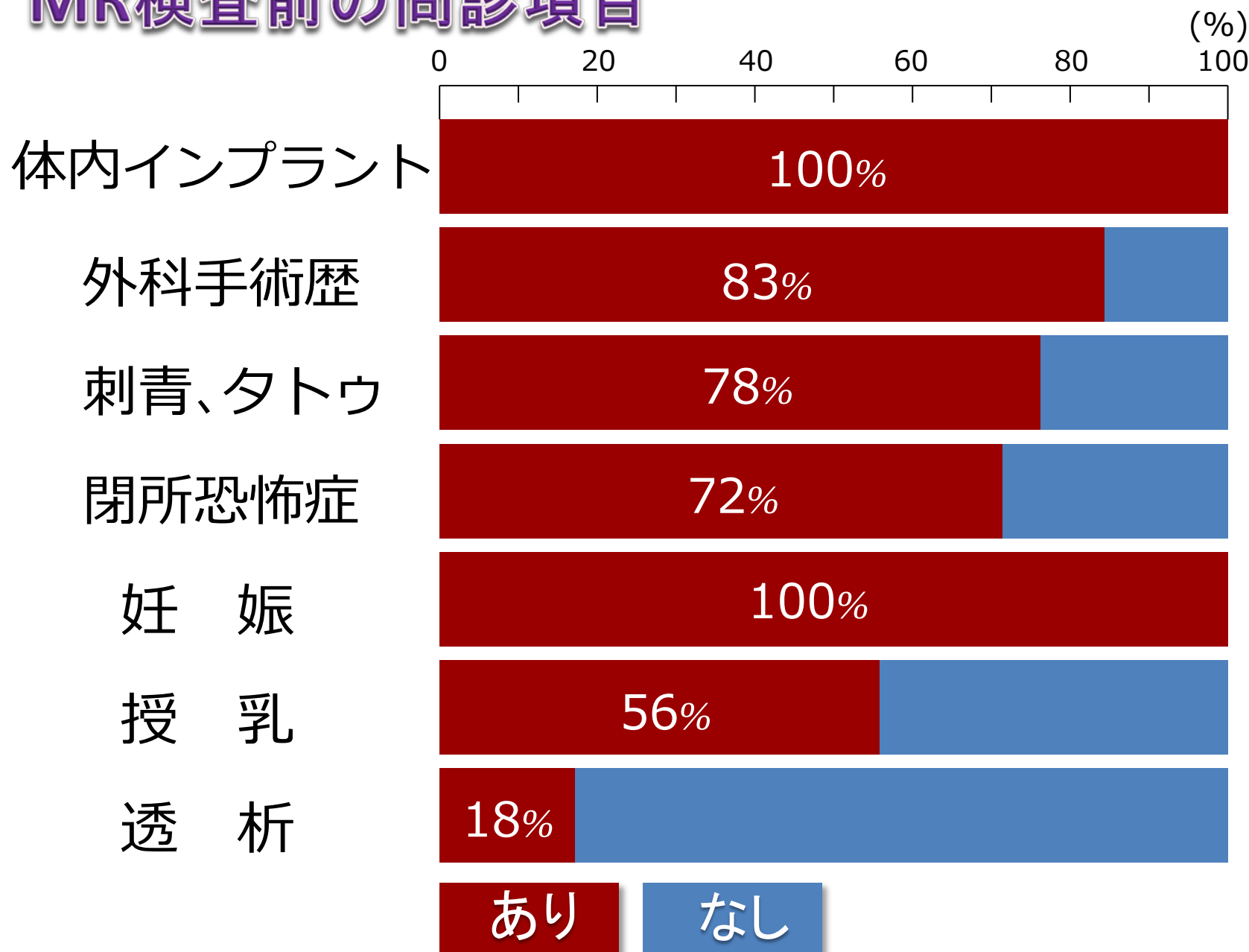
ヨード造影剤を使用する説明文の内容



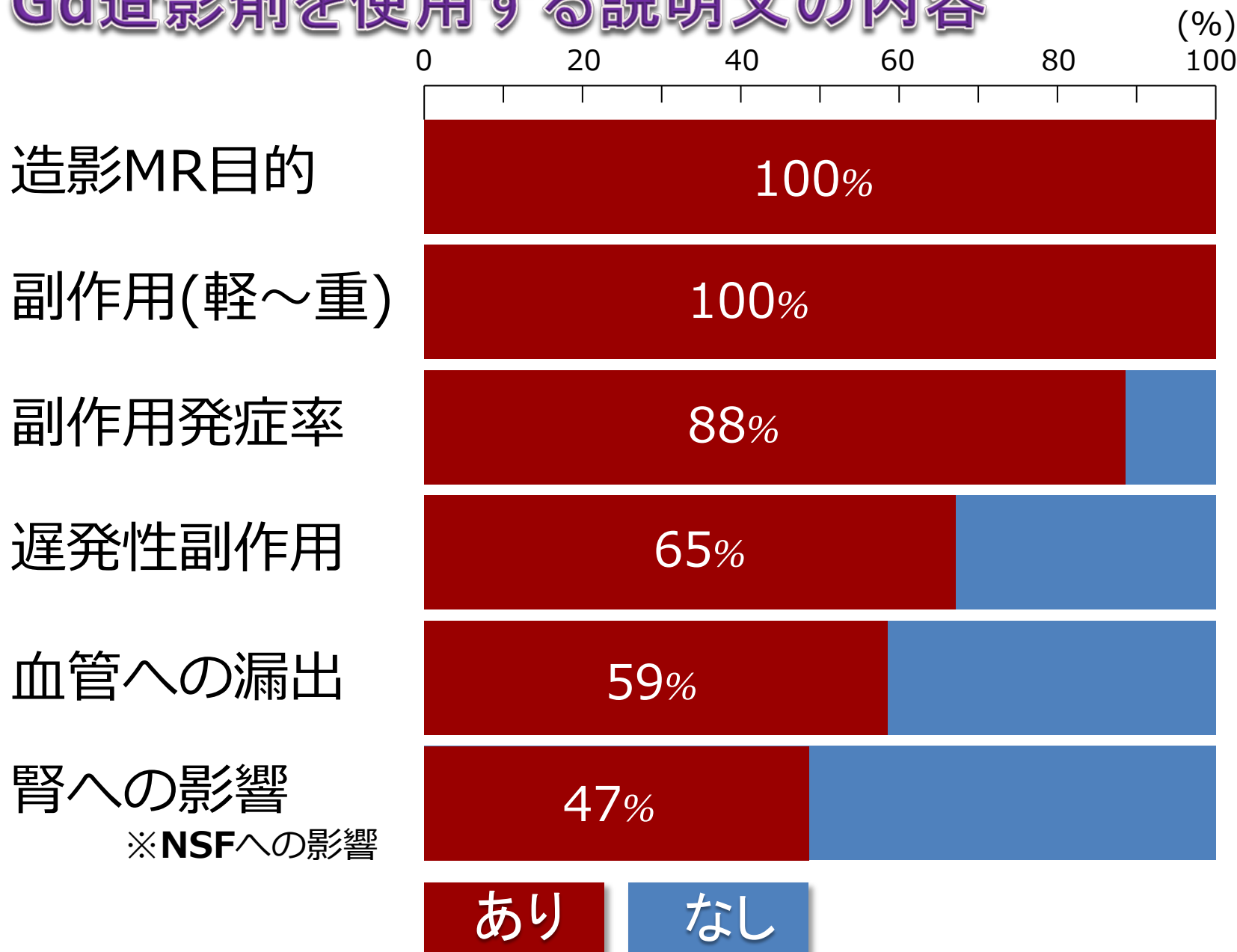
ヨード造影剤使用時の問診・同意書



MR検査前の問診項目



Gd造影剤を使用する説明文の内容



● 施設間の検査説明文

1. 限られた枚数や紙面に合わせて表示に**工夫**が見られる
2. 各施設に適した**独自の作り方**をしている
3. 記載内容の項目や表現方法には施設間で**違いがある**
4. 患者目線での**視覚表現**に工夫がある

● インシデントの重篤度分類

検査開始の遅れ
検査の中止

- ☆ 食事制限の未実施
- ☆ 禁忌事項の発覚
- ☆ 検査データのとり直し
- ☆ 説明やり直し、同意取り直し

検査の「質」に
影響を及ぼす

- ☆ 検査手順・注意点の不理解
- ☆ 説明や指示の伝達不徹底
- ☆ 造影検査の取りやめ

生命や健康に直結
するリスクを伴う

- ☆ 禁忌事項の未確認
- ☆ 直近の腎機能が不明
- ☆ 副作用歴が確認できない
- ☆ データの急変(腎機能、妊娠)

● 検査説明のあり方: Check-1

組織の方針・意識

- ☒ 関心があるか、重要視しているか
- ☒ 使っているものを把握しているか
- ☒ 検査説明の運用を把握しているか
- ☒ 問題は起きていないか、評価しているか
- ☒ 手直ししているか、改善意識はあるか

● 検査説明のあり方: Check-2

情報の**内容**(説明文自体)

- ☒ 医療側が伝えるべきことを示しているか
- ☒ 患者が知りたいことが示されているか
- ☒ 正しく理解してくれるか
- ☒ 最後まで読んでもらえるか

● 検査説明のあり方: Check-3

運用の**方法**(コミュニケーション・教育)

- ☒ スタッフがどれだけ説明できるか(**skill**)
- ☒ 検査説明をルール化しているか(義務)
- ☒ 説明技術を教育しているか(統一性)
- ☒ 効果的な伝え方を追求しているか